

2019年度 淀川区運営方針

(区長：山本正広)

◆計画

区の目標（何をめざすのか）

・区民との協働によるまちづくりを推進し、「みんなの笑顔がつながるまち」をめざす。

区の使命（どのような役割を担うのか）

・区民に身近な総合行政の窓口として、誰もが安全・安心に暮らせるように施策を推進する。
 ・豊かなコミュニティの形成や多様な協働による地域活動を支援する。
 ・区民のニーズを的確に把握し、区政運営に反映するとともに、区民が利用しやすく信頼される区役所づくりに取り組む。

2019年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）

・「みんなの笑顔がつながるまち」の実現に向けて、「安全・安心なまちづくり」「教育・子育て支援の充実」「つながるまちの実現」「区民のための区役所づくり」の取組を重点的に実施する。

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1 安全・安心なまちづくり】 ・誰もが安全で安心して暮らせるように、地域と行政が連携しながら取組を進める。	【1-1 防災対策】 ・自助、共助、公助の役割分担による減災推進の取組を促進する。
主な具体的取組（2019年度予算額）	
【1-1-1 自助の取組、1-1-2 共助の取組】 (1-1-3含む9,740千円) ・防災講座の開催やTwitter、Facebook等SNSによる周知、乳幼児健診やPTAの会合、区民まつり等の区民が多数集まる場所での周知等の区民の防災意識向上のための啓発活動を行う。また、各地域における防災面の課題を全地域に共有する。今年度の重点的取組として、防災に対する関心の低い若年層を対象とした訴求力の高い防災イベントを実施し、啓発に取り組む。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2 教育・子育て支援の充実】 ・すべての子育て世帯が安心して子育てできるように支援するとともに、子どもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自分の可能性を追求できるように支援する。	【2-1 教育支援】 ・区内小中学校と連携し、児童生徒の学力・体力の向上に向け支援する取組を展開する。
主な具体的取組（2019年度予算額）	
【2-1-2 学力向上支援(淀川漢字名人育成計画)】 (3,824千円) ・分権型教育行政の枠組みにより、区役所と小中学校とが連携して、子どもの学力向上を支援するため取組む。小学生(5年生)及び中学生(各学校選定の1学年)の漢字検定受験において、区役所は受験料を負担し、各学校は漢字検定の受験を盛り込んだ学力向上の取組を行う。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3 つながるまちの実現】 ・地域活動への参加を促進するための支援を行うとともに、行政・地域活動協議会・区民・NPO・企業等の様々な活動主体が互いに協働していける環境づくりを推進する。	【3-1 地域コミュニティの活性化】 ・中間支援組織(まちづくりセンター等)と連携して、地域や地域ボランティアの活動に役立つ情報を提供することにより、地域活動への住民の理解促進を図る。
主な具体的取組（2019年度予算額）	
【3-1-1 市民活動の理解促進(市政改革プラン2.0(区政編)に基づく取組—改革の柱1 I—ア・Ⅲ—ア)】 (3-1-2、3-2-1含む58,091千円) ・あらゆる広報媒体を活用し情報を発信することで、身近な地域で行われている地域活動への参加を呼びかけるとともに市民活動の理解促進を図る。今年度の重点的取組として、中間支援組織(まちづくりセンター等)と連携し、全地域が年1回以上の地域活動に関する情報発信を行えるように支援する。	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題4 区民のための区役所づくり】 ・区民の意見やニーズを的確に把握し、区政運営に反映させるとともに区民が必要とする情報をより効果的に発信する。 ・区役所職員が「全体の奉仕者」であるという認識のもと効率的に業務を行うとともに、区役所利用者に満足いただけるサービスを提供できるように取り組む。	【4-2 区民の立場に立った情報発信】 ・広報誌、HP、SNS等の多様な広報媒体を効果的に活用し、区民が必要な情報をより多くの区民にお届けする。
主な具体的取組（2019年度予算額）	
【4-2-1 区民が必要とする情報の発信（市政改革プラン2.0(区政編)に基づく取組—改革の柱1 II—ア・イ）】 (4-1-1含む30,422千円) ・今年度の重点的取組として、市政、区政、身近な地域情報を区民にお届けしている広報誌にエンターテインメント性を持たせる仕組みを検討する。SNSにおいて、将来的に意識調査程度が可能となるようなフォロワー数の獲得に向け取り組む。	

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
【地域に根ざした活動の活性化（地縁型団体）(区政編 改革の柱1 II—ア)】	・各種団体と地域のつながりづくりにおいての意見交換を行い、課題やニーズの実態を把握する。
主な取組項目	取組内容
【「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進（区政編 改革の柱2 I—イ）】	・「淀川区子ども教育会議（保護者・区民等の参画のための会議）」において、分権型教育行政の枠組みにそった施策にかかる学校との検討状況を伝え、意見聴取する。

◆ 自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向